

「安全」「組織」取り組み強化、 乗務環境向上に向けて頑張ろう！

第11回定期総会は書面会議にて開催！

運転士連絡会員の皆様には、連日の厳しい業務を精励されていることに敬意を表します。また新型コロナウイルス感染症も収まらないうち、感染対策に留意され、日々「安全最優先」の運行を意識し努力されていることに運転士連絡会からも、改めてお礼申し上げます。

さて、全国運転士連絡会第11回定期総会におきましては、2年前の前第10回定期総会をコロナウイルス感染症の拡大により、書面開催とさせていただきました。今回計画段階では、感染者の減少傾向や行動制限の解除など、開催に向けた環境の好転もあり、12月上旬の開催に向け準備を行ってまいりました。しかしながら、「第8波」とも言われる感染者の増加傾向を受け、特に運転職場の皆さんへの影響などを考慮し、不本意ではありますが、前回総会に続いて書面での開催とさせていただくこととなりました。

会員の皆様におかれましては、急きよ変更となったことをお詫び申し上げますとともに、次回総会は、完全な形で開催できることをねがってやみません。今後も安全・安心な乗務環境の構築のため、一層取り組み強化していきたいと考えます。皆様のご協力をよろしく願います。

【第11回定期総会を迎えるにあたって】

全国の貨物鉄産労全国運転士連絡会会員の皆様には日頃の活動及び諸行動への積極的な参加に対して感謝申し上げます。

はじめに、今回の開催にあたって、急遽書面開催とさせていただくこととなりました。当初新型コロナウイルス感染者の状況などが落ち着いていることや、全国旅行支援など、行動制限が無いことを考慮し、4年ぶりに対面開催とすべく取り組んでまいりましたが、最近「第8波」ともとれる感染拡大の懸念から、このようにさせていただくことにご理解お願いいたします。

さて、貨物鉄産労全国運転士連絡会は7度開催した「職場交流会」をはじめ、労働条件の改善や安全問題などの施策・事項に対し、これまで鋭意取り組んできました。

私たちの結成理念の一つに「安全で働きやすい乗務環境の構築」を掲げ、結成時に発生した「手当見直し（仕業加給）」問題に取り組んだのを皮切りに、ダイヤ改正ごとの本社交渉や安全問題などの課題に取り組んできました。また、JR福知山脱線事故や東海道線列車退行事故など、相次いだ重大事故に対し失われた

「安全」への信頼を取り戻すべく、「安全を最優先とした業務・運行体制」「安全で働きやすい職場環境」を確立させ、JRの安全に対する信頼回復を取り戻そうとの認識に立ち、安全問題に真摯に取り組んできました。

重大事故を無くすため、乗務ダイヤの改善や、適正な休養が取れる環境、運転保安装置や支援装置の充実など、「裏付けのある対策」を求めてきました。そのような中、昨年末に発生した山陽線での貨物列車脱線事故は、列車防護、転動防止手配を行えなかったという事象が発生しました。TE操作を躊躇する理由など原因を一つずつ解決し、迅速な異常時対応が可能となる環境整備を行わなければなりません。「働き度向上」の名のもとに、「我々を守る生命線」であるダイヤ作成基準や、それを補う協定や労使確認事項などを、断固守っていくとともに、輸送の最前線で安全を守る運転士の待遇の維持・向上に向けても運動を強化していかなければなりません。

また、JR貨物の経営自立達成には、「民主化運動完遂」が前提でなくてはなりません。「運転職場の民主化」が「貨物民主化」を実現させるための最大の課題といえます。本部や地区本部の各種行動と積極的に連携をしながら、成果を出していかなければなりません。

急きよ書面開催となったことを再度お詫びしますとともに、今後の活動強化に向けたステップとすることを願っています、あいさつとさせていただきます。